

2013年11月27日

AGC、トムソン・ロイター「Top 100 グローバル・イノベーター 2013」に選出

AGC 旭硝子株式会社

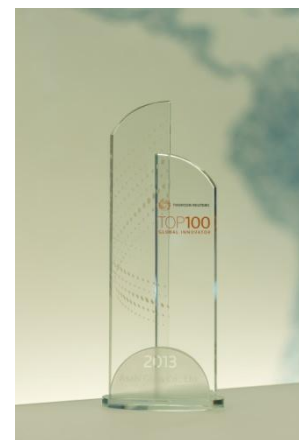
AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、トムソン・ロイター主催の「Top100 グローバル・イノベーター2013」アワードにおいて、世界で最も革新的な企業／機関トップ 100 社に選出されました。

本アワードは、トムソン・ロイターが世界の知的財産及び特許の動向を分析し、技術革新の中核を成す企業を選出・表彰するものです。評価基準^{注1}は「成功率」、「グローバル性」、「影響力」、「数量」の4項目で、AGCは「影響力」及び「グローバル性」で特に高い評価を獲得しました。

AGCは日本・アジア、欧米、そして今年操業を開始したブラジル等、世界で幅広く事業を展開し、地域社会に貢献できる技術の開発に取り組んでいます。この度の受賞は、当社のグローバルな視点での活用を意識した知的財産マネジメントが認められたものと考えています。



トムソン・ロイター代表（写真右）から
トロフィーを授与される専務執行役員の田村良明（写真左）



受賞トロフィー

AGCの技術開発力の成果は、現在開催中の「SMART MOBILITY CITY 2013」でもご覧いただけます。AGCは引き続き、既成の概念や枠組みにとらわれない発想で、革新的な技術・製品、サービスを追求していきます。

注1：評価項目の「成功率」、「グローバル性」、「影響力」、「数量」は、それぞれ「特許登録率」、「特許ポートフォリオの世界的な広がり」、「引用における特許の影響力」、「特許数」を指します。

以上